



柏小みんなの合い言葉 「あかるく かしく たくましく」

地域の方に教わりながら育て
た大根で収穫パーティー。
学習支援、お世話になりました。

柏原っ子

令和2年2月1日

第10号

文責：中西

2月のことば

『優しい言葉一つで冬じゅう暖かい』～日本のことわざ～

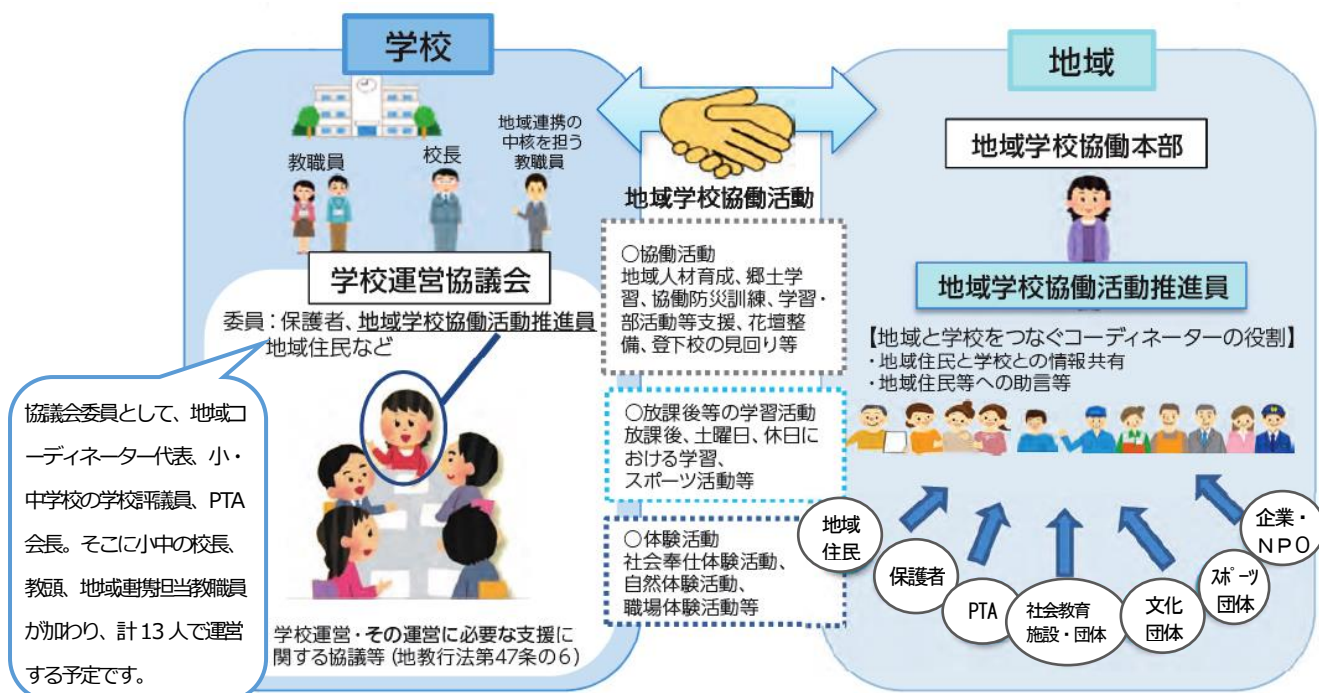
暖冬の今シーズンですが、優しい言葉をかけられた
ときの心の温かみに勝るものはないでしょう。

【二つの学校で一つの協議会を設置します】



● 柏原小学校は令和2年度からコミュニティ・スクールになります

コミュニティ・スクールとは、保護者や地域のみなさんの声を学校運営に活かすための組織である「学校運営協議会」を設置した学校のことをいいます。(文科省 HP より)



● コミュニティ・スクールの魅力とは？

地域も学校も活性化することを一緒に考えていきましょう。

① 組織的・継続的な体制の構築 = 持続可能性

校長や教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制が継続できる。

② 当事者意識・役割分担 = 社会総掛かり

地域でどのような子供を育てていくのか、何を実現していくのかという「目標・ビジョンを共有」できる。

③ 目標・ビジョンを共有した「協働」活動

校長が作成する学校運営の「基本方針の承認」を通して、学校や地域、子供たちが抱える課題に対して関係者がみな当事者意識をもち、「役割分担をもって連携・協働による取組」ができる。

♪ 鬼は～内、福は～外 ♪?!

2020年の節分は2月3日。節分とは元々「季節を分ける」ことを意味したのに、2月の節分だけがこのようにポピュラーになったのは、それだけ長い冬を耐え、春を待ちわびる人の思いが強かったからなのではないでしょうか。鬼と言えば思い出す話を二つ。



●小学校3・4年生時の担任の先生の読み聞かせから

一人寂しく暮らしていたおじいさんが、その寂しさに耐えかねて「鬼でも何でも来てくれい。♪鬼は～内♪」と歌ったところ、各家庭から追い出された鬼たちが、おじいさんのところに喜んでやってきて、おじいさんとドンチャン騒ぎ。おじいさんはちょっと生きる望みを持つ、というお話。子ども心に、おじいさんも鬼も両方よかったとほっとしたものでした。

●高校の同級生、渡辺くんの話から

「オレんとこ、豆まきせんでもいいんやでえ」と自慢げに語っていた渡辺くん。そのわけは・・・。

渡辺姓の祖先に渡辺綱（わたなべのつな）という平安時代の武将がいたそう。この人が暴れる鬼の腕を刀でたたき切って退治したとかで、鬼が怖がって寄ってこないということらしい。ふーん、ほんとに豆まきしたいでしょうに、とは言えませんでした。

●常識を疑うとは？

さて、「鬼は外!」「節分には豆まきする」、これは一般的な常識なのか、そうではないのか。「そういうものだ」と受け止めて思考停止するのではなく、比較対照化してみる。そうすることで浮かび上がってくる「普遍性のなさ」にこそ疑うべき常識があります。おもて面のコミュニティ・スクールの在り方にも、このことは当てはめられそうです。保護者の方、地域の方の多様なご意見が、疑うべき常識を映し出すレンズとして働いてくれるように思います。

例えば、小中合同運動会の開催。小中一貫校でなくても、合同で行う意義は大いにありそうです。学校と地域がさらに元気になるために熟議をお願いします。



行事予定表

- 3日(月) 交通指導、安全点検、委員会、家庭学習強調週間(～9日)
- 6日(木) 特支交歓会「卒業生を祝う会」
- 8日(土) 漢字検定
- 10日(月) クラブ活動(3年クラブ見学)
- 11日(火) 建国記念の日
- 12日(水) 1・2年お話し会、入学説明会・半日入学
- 13日(木) なかよし遊び、5校時で全校一斉下校
- 14日(金) 交通指導、3年昔体験
- 17日(月) クラブ活動、全校大縄大会2校時
- 19日(水) 子ども安全リーダー会
- 20日(木) 学習参観日、学校評議員会
- 21日(金) PTA本部役員会、評議員会
- 23日(日) 天皇誕生日
- 24日(月) 振替休日
- 26日(水) 5・6年お話し会
- 27日(木) なかよし活動、6年お鍋給食
- 28日(金) PTA新旧本部役員会

◆ 2/3～10 は家庭学習強調週間

2/3(月)～2/10(日)は、家庭学習の充実を図る強調週間です。保護者の皆様には子どもたちへの励ましと見守りをお願いいたします。

● もうすぐ中学生 柏原中学校体験入学

中学校では親子での説明会の後、数学と社会の体験授業を受けました。みんながよく考えた褒美に、中学校の先生があっという間に驚くパフォーマンスをしてくださったとか。

